

# 造林木を守る獣害対策資材の開発 (R4~6年度)

## 現状

### 1. これまでの造林木の獣害対策



▲防獣ネット柵



▲シカフレーム

### 2. これまでの獣害対策資材の弱点

#### ○防獣ネット柵

シカの侵入の防止効果はあるがノウサギの侵入食害確認  
積雪により支柱の破損確認



▲ネット柵内に侵入したノウサギ



▲積雪によるネット柵支柱の破損

#### ○シカフレーム

シカの侵入防止効果あり  
耐雪性があり、メンテナンスフリーであるが高価



●現場条件や造林樹種、対象獣等に応じた最適な対策が必要。

●森林所有者が容易に設置でき、低コストな防護資材

**「多様な条件に応じた獣害対策資材の開発」**が望まれる。

## 課題

これから求められる防護資材の開発

1. シカやノウサギ等の獣種に対応した構造
2. 雪国福井に適應できる耐雪構造
3. 低コストで設置手間の要しない構造

## 研究内容

### 1. 対象獣に対応した防護資材の開発

- ・ネットの網目径や獣が嫌う色や臭いの利用検討

### 2. 高強度・低コスト設置手法の検討

- ・立木を活用した控索の開発
- ・残存木および境界木の活用

### 3. 植栽地での防護資材の効果分析調査

- ・防護資材毎の供試木の枯損率、生存木の食害状況、設置防護資材の破損等

## 目標および期待される効果

○造林木の獣害被害の軽減

○森林資源の循環利用の拡大